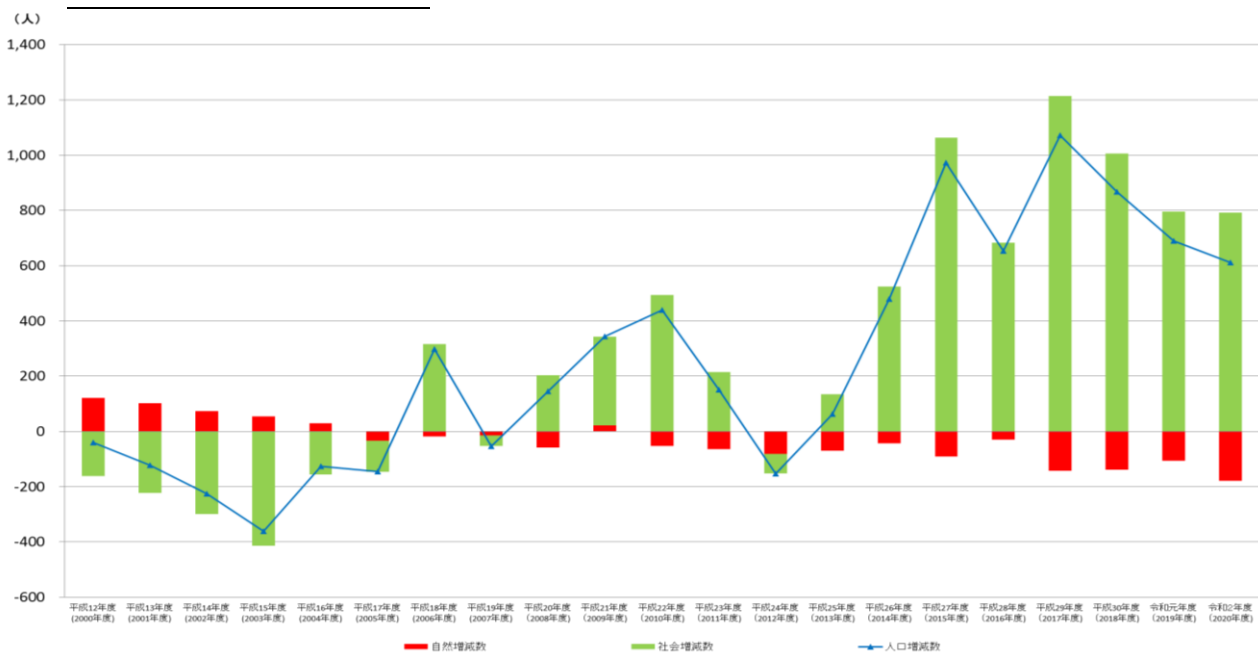


## 蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの現状

### ①自然動態・社会動態(令和2年度)

- 出生数は昨年度より 17 人減少し 567 人となり、死亡数が昨年度より 56 人増加し 746 人となったため、自然増減数は、179 人減（昨年度は 106 人減）となりました。
- 転入数は昨年度より 172 人減少し 6,589 人となり、転出数は 167 人減少し 5,798 人となったため、社会増減数は、791 人増（昨年度は 796 人増）となりました。
- 人口増減数は 612 人の増（昨年度は 690 人の増）となり、平成 18 年（2006 年）頃からの「自然減・社会増」の傾向が続いています。

図表 1 自然動態・社会動態



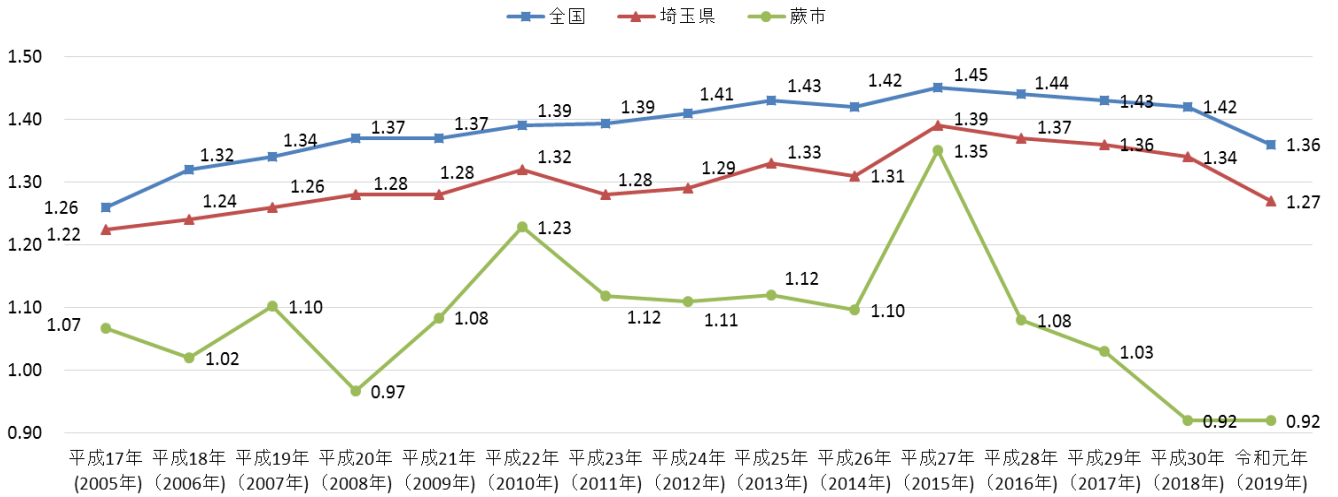
	人口増減数	自然動態			社会動態		
		出生数	死亡数	自然増減数	転入者数	転出者数	社会増減数
平成12年度(2000年度)	▲ 41	648	527	121	5,455	5,617	▲ 162
平成13年度(2001年度)	▲ 122	620	519	101	4,880	5,103	▲ 223
平成14年度(2002年度)	▲ 225	602	528	74	4,780	5,079	▲ 299
平成15年度(2003年度)	▲ 361	602	548	54	4,536	4,951	▲ 415
平成16年度(2004年度)	▲ 127	561	531	30	4,548	4,705	▲ 157
平成17年度(2005年度)	▲ 146	543	577	▲ 34	4,537	4,649	▲ 112
平成18年度(2006年度)	297	530	549	▲ 19	4,830	4,514	316
平成19年度(2007年度)	▲ 53	578	592	▲ 14	4,482	4,521	▲ 39
平成20年度(2008年度)	145	513	572	▲ 59	4,502	4,298	204
平成21年度(2009年度)	343	584	562	22	4,443	4,122	321
平成22年度(2010年度)	440	548	601	▲ 53	4,715	4,222	493
平成23年度(2011年度)	150	574	639	▲ 65	4,522	4,307	215
平成24年度(2012年度)	▲ 153	587	669	▲ 82	4,929	5,000	▲ 71
平成25年度(2013年度)	63	598	669	▲ 71	5,789	5,655	134
平成26年度(2014年度)	480	597	641	▲ 44	5,780	5,256	524
平成27年度(2015年度)	972	634	726	▲ 92	6,609	5,545	1,064
平成28年度(2016年度)	653	632	662	▲ 30	6,308	5,625	683
平成29年度(2017年度)	1,072	569	712	▲ 143	6,899	5,684	1,215
平成30年度(2018年度)	867	529	667	▲ 138	7,056	6,051	1,005
令和元年度(2019年度)	690	584	690	▲ 106	6,761	5,965	796
令和2年度(2020年度)	612	567	746	▲ 179	6,589	5,798	791

資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」（総務省）平成 12～24 年度、及び「住民基本台帳」（蕨市）平成 25～令和 2 年度

## ②合計特殊出生率

○埼玉県「合計特殊出生率の年次推移」によると蕨市の合計特殊出生率は、令和元年（2019年）で約0.92となっています。県内自治体（40市）の中では40位に位置しています。

図表2 合計特殊出生率の推移



図表3 県内自治体（市のみ）の合計特殊出生率

平成29年(2017年)					令和元年(2019年)						
順位	市名	合計特殊出生率	順位	市名	合計特殊出生率	順位	市名	合計特殊出生率	順位	市名	合計特殊出生率
1	吉川市	1.46	21	鴻巣市	1.25	1	志木市	1.39	21	入間市	1.15
2	八潮市	1.45	22	所沢市	1.25	2	朝霞市	1.37	22	蓮田市	1.14
3	朝霞市	1.43	23	草加市	1.23	3	吉川市	1.33	23	飯能市	1.14
4	志木市	1.41	24	鶴ヶ島市	1.23	4	白岡市	1.32	24	川口市	1.13
5	三郷市	1.37	25	熊谷市	1.22	5	和光市	1.31	25	秩父市	1.13
6	白岡市	1.34	26	上尾市	1.21	6	三郷市	1.30	26	草加市	1.13
7	深谷市	1.34	27	本庄市	1.20	7	八潮市	1.29	27	北本市	1.12
8	越谷市	1.34	28	入間市	1.20	8	さいたま市	1.28	28	所沢市	1.12
9	蓮田市	1.34	29	川口市	1.20	9	越谷市	1.26	29	ふじみ野市	1.11
10	さいたま市	1.33	30	狭山市	1.20	10	戸田市	1.24	30	春日部市	1.08
11	和光市	1.32	31	久喜市	1.17	11	上尾市	1.23	31	狭山市	1.07
12	戸田市	1.32	32	春日部市	1.16	12	鶴ヶ島市	1.23	32	久喜市	1.06
13	桶川市	1.31	33	飯能市	1.15	13	本庄市	1.23	33	鴻巣市	1.06
14	ふじみ野市	1.31	34	坂戸市	1.13	14	新座市	1.21	34	坂戸市	1.05
15	川越市	1.31	35	北本市	1.10	15	川越市	1.20	35	加須市	1.02
16	東松山市	1.30	36	加須市	1.09	16	桶川市	1.19	36	日高市	1.00
17	羽生市	1.30	37	日高市	1.09	17	深谷市	1.19	37	羽生市	1.00
18	秩父市	1.30	38	行田市	1.09	18	熊谷市	1.16	38	行田市	0.99
19	富士見市	1.30	39	蕨市	1.03	19	東松山市	1.16	39	幸手市	0.97
20	新座市	1.26	40	幸手市	0.98	20	富士見市	1.16	40	蕨市	0.92

資料：「合計特殊出生率の年次推移（保健所・市区町村別）」（埼玉県）

### ③年齢階級別移動数

○令和2年においては、蕨市の特徴である「15歳～29歳」における『転入超過』の傾向が続いています。  
 一方で、「30歳～39歳」は『転出超過』が見られるものの、近年、転出の動きは緩やかになっています。

図表4 令和2年における年齢階級別移動数

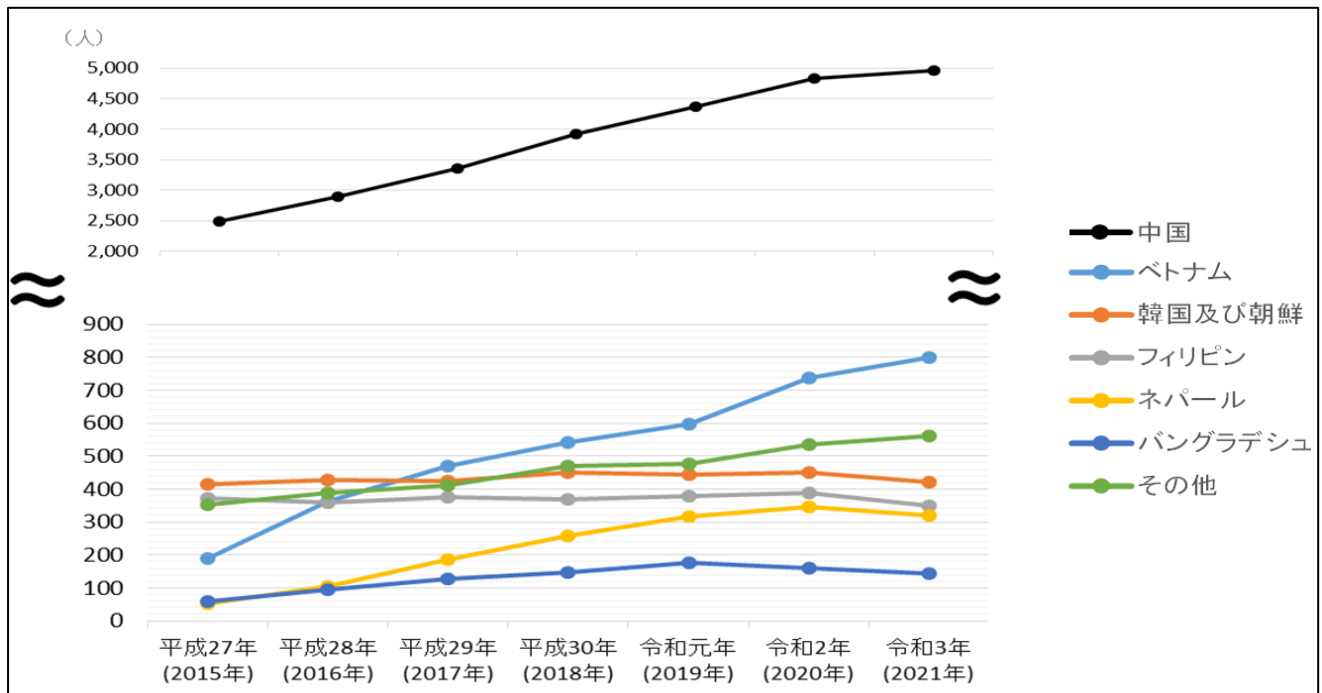
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
転入	202	85	62	218	1,611	1,588	870	492	288	218	171	110	72	50	57	34	25	25	13
転出	275	112	58	166	1,118	1,433	894	505	286	265	159	136	99	85	54	55	49	25	24
転出入	-73	-27	4	52	493	155	-24	-13	2	-47	12	-26	-27	-35	3	-21	-24	0	-11

資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）

### ④外国人人口

○国籍別の動向を見ると、中国が他と比較して多く、近年は全体の6割以上を占め、増加が続いています。  
 また、ベトナムも増加傾向にあります。

図表5 外国人人口の動向（各年4月1日）



	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)
中国	2,483	2,895	3,360	3,925	4,369	4,831	4,963
ベトナム	188	363	469	541	597	737	801
韓国及び朝鮮	414	428	424	449	443	451	421
フィリピン	373	359	374	370	378	389	350
ネパール	51	106	185	259	318	345	321
バングラデシュ	58	94	128	146	176	161	145
その他	352	388	411	471	477	534	560
合計	3,919	4,633	5,351	6,161	6,758	7,448	7,561

資料：「国籍別人口」（蕨市）

## ⑤人口の推移と年齢構成

○令和2年においては、前年と比べ、年少人口・生産年齢人口・老年人口のいずれも増加となりました。  
また、構成比では引き続き75歳以上人口割合の逡増がみられます。

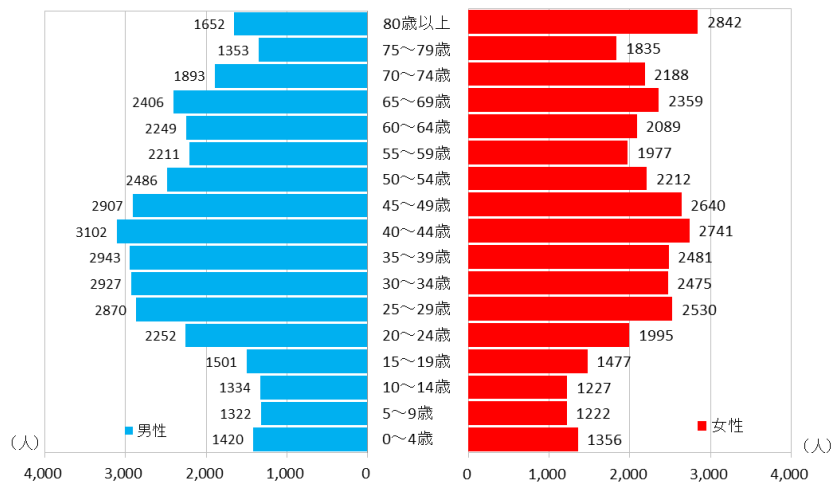
図表6 総人口及び年齢4区分別人口の推移（住民基本台帳人口 各年4月1日）

		平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)
年少人口 (0～14歳)	実数(人)	7,983	8,057	8,152	8,101	8,120
	構成比(%)	10.9%	10.9%	10.9%	10.8%	10.7%
生産年齢人口 (15～64歳)	実数(人)	48,424	48,641	49,273	49,763	50,060
	構成比(%)	66.1%	65.9%	66.0%	66.1%	66.2%
老年人口 (65歳以上)	実数(人)	16,897	17,102	17,268	17,390	17,474
	構成比(%)	23.0%	23.2%	23.1%	23.1%	23.1%
75歳以上	実数(人)	7,971	8,314	8,544	8,903	9,084
	構成比(%)	10.9%	11.3%	11.4%	11.8%	12.0%
総人口	実数(人)	73,304	73,800	74,693	75,254	75,654

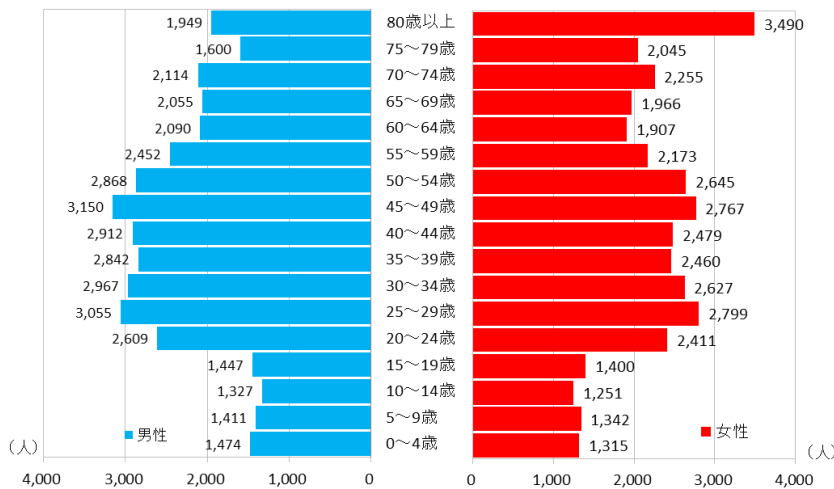
資料：「年齢別人口統計」（蕨市）

図表7 男女別年齢5歳階級別人口の推移（人口ピラミッド）

平成27年（2015年）



令和2年（2020年）



資料：「年齢別人口統計」（蕨市）

## ⑥転入・転出状況

○転入元の上位は川口市・戸田市ですが、転入超過数で見ると、東京都区部が転入元の上位を占めており、近年は東京都区部からの人口流入が特徴となっていることがわかります。

**図表8 令和2年における蕨市への転入状況**

転入数				転入超過数		
順位	対象自治体	実数	構成比	順位	対象自治体	実数
1	埼玉県川口市	1115人	18.0%	1	東京都北区	123人
2	埼玉県戸田市	419人	6.8%	2	東京都板橋区	76人
3	東京都北区	301人	4.9%	3	東京都豊島区	66人
4	東京都板橋区	171人	2.8%	4	東京都大田区	59人
5	さいたま市南区	161人	2.6%	5	東京都新宿区	58人
6	東京都豊島区	146人	2.4%	6	東京都文京区	53人
7	東京都新宿区	122人	2.0%	7	東京都墨田区	41人
8	東京都荒川区	106人	1.7%	8	東京都品川区	35人
9	東京都足立区	90人	1.5%	9	東京都荒川区	32人
10	東京都練馬区	81人	1.3%	10	東京都江戸川区	28人

資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）

○転出先の上位は川口市・戸田市・さいたま市南区といった埼玉県内近隣自治体ですが、転出超過数で見ても、同様に県内近隣自治体への人口流出が特徴となっていることがわかります。

**図表9 令和2年における蕨市からの転出状況**

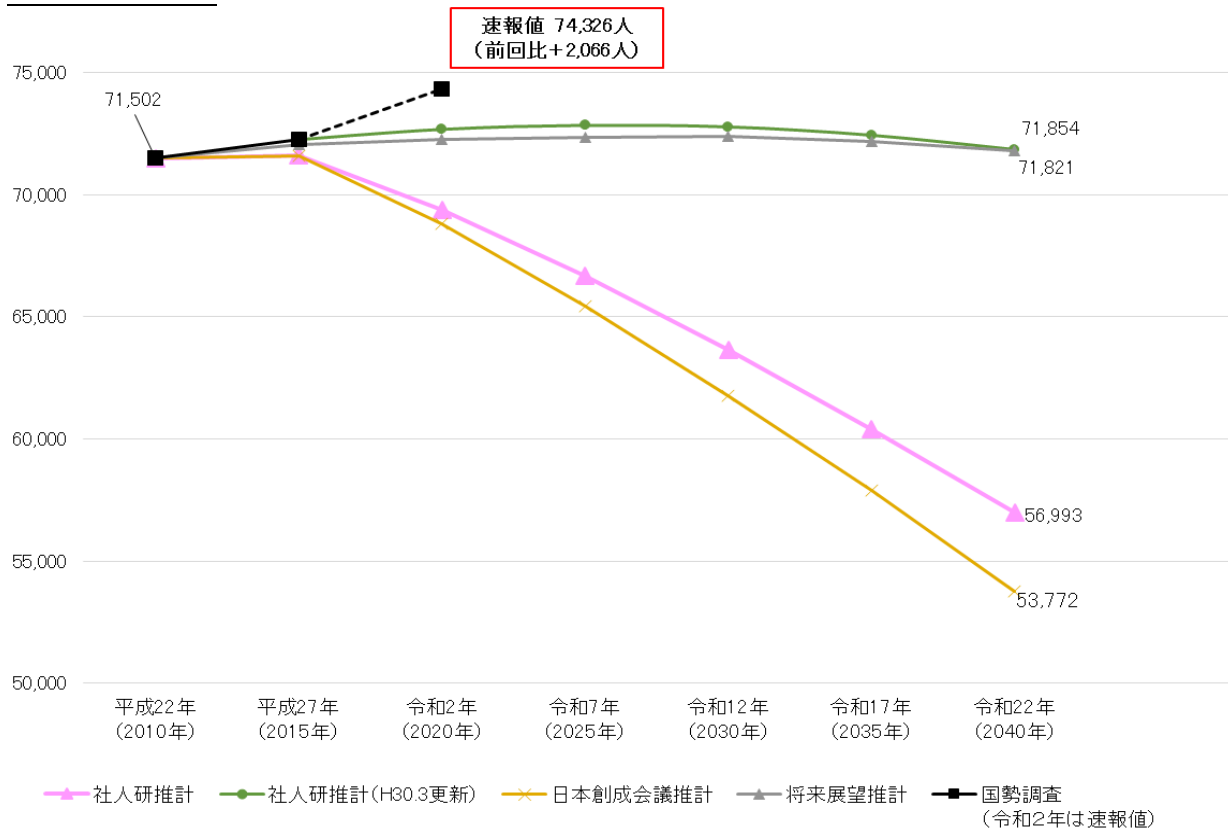
転出数				転出超過数		
順位	対象自治体	実数	構成比	順位	対象自治体	実数
1	埼玉県川口市	1208人	20.8%	1	埼玉県川口市	93人
2	埼玉県戸田市	397人	6.8%	2	さいたま市中央区	76人
3	さいたま市南区	208人	3.6%	3	埼玉県上尾市	58人
4	東京都北区	178人	3.1%	3	さいたま市桜区	58人
5	さいたま市浦和区	101人	1.7%	5	さいたま市南区	47人
6	東京都板橋区	95人	1.6%	6	埼玉県草加市	34人
7	東京都足立区	90人	1.6%	7	さいたま市浦和区	26人
8	東京都豊島区	80人	1.4%	8	横浜市南区	25人
9	さいたま市中央区	76人	1.3%	9	大阪府吹田市	15人
10	東京都荒川区	74人	1.3%	9	埼玉県伊奈町	15人

資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）

## ⑦人口の将来展望の現状

- 令和2年（2020年）の国勢調査（速報値）では、蕨市の総人口は74,326人となりました。これは、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）推計や日本創成会議推計のほか、蕨市の将来展望推計と比較しても2,052人を上回る結果となりました。
- 本市においては、近年、人口増加の傾向が続いていますが、将来において危惧される人口減少を克服するため、引き続き、総合戦略の施策を着実に実施していく必要があります。

**図表 10 総人口の比較（社人研推計、日本創成会議推計、蕨市将来展望、令和2年国勢調査速報値 参照）**



	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)
社人研推計	71,502	71,605	69,375	66,658	63,646	60,409	56,993
社人研推計(H30.3更新)		72,260	72,680	72,845	72,780	72,441	71,854
日本創成会議推計	71,502	71,605	68,817	65,430	61,769	57,872	53,772
将来展望推計	71,502	72,041	72,274	72,332	72,373	72,186	71,821
<b>国勢調査 (令和2年は速報値)</b>	71,502	72,260	74,326	-	-	-	-

資料：社人研「日本の市町村別将来人口推計人口」、日本創成会議「全国市町村別『20～39歳女性』の将来推計人口」、「国勢調査」（総務省）、「年齢別人口統計」（蕨市）

※社人研推計については、平成30年3月に更新され、蕨市の将来推計人口の見通しが大幅に改善されました。